

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成 25 年 7 月 22 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市神足焼町1番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） パナソニックセミコンダクターソリューションズ株式会社 代表取締役社長 西田 亨

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001 (2004版)
適用範囲	パナソニックデバイスエレクトロニクス株式会社 (本社・亀岡事業場)
導入年月日	本社：デバイス社半導体事業本部のシステムに含まれて活動 亀岡事業場：1997年6月24日
認証番号	亀岡事業場：EC97J1029
基本方針	地球環境の保護が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、 全従業員は積極的に環境改善を進める。 具体方針：(1) ISO14001の継続的改善(2)法令等の遵守 (3)CO2削減、廃棄物削減、指定化学物質等の排出・移動量削減
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	〔亀岡事業場の目標〕 (1)電力使用量_生産高原単位低減（2011年度比4.4%減） (2)新規導入設備（定格電力3.75kW以上）省エネアセスメント 実施によるCO2削減施策促進 〔本社の目標〕 (1)CO2排出量_床面積原単位低減（前年度比14%減） (2)グリーンオフィスアセスメント活動継続による非製造事業場 省エネ活動の維持・定着化
目標を達成するための取組の内容	〔亀岡事業場：電力使用量原単位低減〕 (1)めっき装置_水切り工程等での非高圧エア工法への切り替え化 (2)真空ポンプの自動台数制御運転化 (3)生産ライン歩留まり向上等高効率生産の推進 (4)事務フロアー蛍光灯器具_ケーブル-SW取付による退室時消灯化 (5)非製造関連室内温度の適正化（夏場28℃、冬場19℃） 〔本社：電力使用量原単位低減〕 (1)複合機導入による発熱ドラム式プリンター・FAX台数減少化 (2)開発・品質管理室：無人時消灯化、蛍光灯点灯台数見直し (3)ケーブル・ウォールビス及び暖房設定温度19℃の徹底
目標を達成するための取組の進捗状況	〔亀岡事業場：電力使用量生産高原単位低減〕 上記に挙げた取組内容は全て実施したものであるが、景気低迷により、設備投資が伴う取組（高効率型エアコン切替等）は見合わされた。但し、省エネ委員会の地道で熱心な活動が功を奏し、計画外の施策も取り組むことができた。 〔本社：電力使用量床面積原単位低減〕 開発部門で新規設備導入が行われ、設備を稼働させない場合は待機電力を含め、電源を切る措置を徹底させた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	〔亀岡事業場：電力使用量生産高原単位低減〕 生産高が振るわず、原単位は'12年度より僅かに改善がみられるものの高い水準であった。但し、実施計画はクリアした。 〔本社：電力使用量床面積原単位低減〕 新規設備導入によるCO2排出量増加はあったが、同時に作業面積の拡張が行われたため、原単位は下がった。 (実施計画はクリア)
事業活動に係る法令の遵守の状況	〔亀岡事業場〕 法令遵守については、監視項目に応じて頻度を設定し、最も頻度が多いもので年に4回、少なくとも年に1回、定期的に評価を行う事を規定し、実施している。 評価結果において、遵守違反は確認されなかった。 〔本社〕 法令遵守は月に1度評価を実施している。 評価結果において、遵守違反は確認されなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	〔亀岡事業場〕 製造関連部門、原動供給部門の目的及び目標設定値においても、電力使用量管理に原単位を利用している。 ただ、一律に同じ生産高を使用しているため、部門によっては生産高との比例関係で不具合が生じ、パフォーマンス性が低下する事があるので改善してはどうかとの経営層よりの提案が出された。 それを受け、部門は独自の原単位を設定してもよいとの枠を設けた。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。